

雪が泣く

森野 水琴

晴れた空から、ひとひらの雪が舞う。
何か言いたげに雪が舞う。

手に受けた雪は溶けてしまう。

何を言いたかったのだろうと空を見上げると、またひとひらの雪が舞う。

そうか。泣いているのか。なみだ目に手のひらの雪がにじむ。

心を洗うように 雪が泣く

はらはらと ただ はらはらと

名残を惜しむように雪が降る。

巣立ちの季節に寒の戻りの雪が降る。

また逢いたいと祈るように雪が降る。

まるで桜吹雪のように。